

グランプリファイナル、全日本フィギュアスケート選手権大会

宮原知子さん、本田真凜さんが大活躍



宮原知子さん

12月10～13日、スペイン・バルセロナで行われたグランプリファイナルで、アイススケート部の宮原知子さん(高等部3年生)が自己ベストを更新し、銀メダルを手にした。続く12月24～27日、北海道札幌市で行われた第84回全日本フィギュアスケート選手権大会では、見事、金メダルを獲得。SP1位に続くフリーでは、初恋をテーマとする『ため息』を情感たっぷりに演じ、大会2連覇を達成した。この結果、宮原さんは今春、アメリカ・ボストンで開催される世界選手権の出場が確定した。豊富な練習量による抜群の安定感で、女子フィギュア界の新エースとして期待が寄せられている。

また、12月10～13日、バルセロナで行われたジュニアグランプリファイナルでは、アイススケート部の本田真凜さん(中等部2年生)が3位に入賞。世界の初舞台で、14歳とは思えない豊かな表現力で観客を魅了した。



本田真凜さん

Junior Grand Prix of Figure Skating Final

Grand Prix of Figure Skating Final Japan Figure Skating Championships

内閣総理大臣杯 第43回全日本空手道選手権大会

清水希容さんが金メダルを獲得!

12月13日、日本武道館で開催された内閣総理大臣杯・第43回全日本空手道選手権大会の女子形個人の部で、体育会空手道部の清水希容さん(文4)が見事、優勝を果たした。清水さんが演じた形は、糸東流の最高峰とも言われるチャタンヤラ・クーシャンク。難易度の高い勝負形で挑み、大会3連覇を達成した。

清水さんは、第22回世界空手道選手権大会や第70回国民体育大会空手道競技、空手1ープレミアリーグ沖縄2015で優勝するなど、数々の大会でメダルを獲得。また、2020年東京五輪の追加種目として空手道が提案された際には、大会組織委員会のヒアリングで「形」の演武を披露した経験も持つ。今大会終了後には、「オリンピックに向けて責任を果たせてよかった」と笑顔でコメントを寄せた。

全日本空手道選手権大会3連覇を達成した清水希容さん▶



◎人間健康研究科 博士課程後期課程開設記念 スポーツフォーラム2016を開催

スポーツとイノベーション～ラグビー日本代表にわれわれは何を学ぶのか?～



「スポーツフォーラム2016」で行われた講演。(左)平尾誠二氏(右)荒木香織氏



●パネルディスカッションの様子

関西大学は1月11日、千里山キャンパスソシオ AV大ホールにおいて、スポーツフォーラム2016を開催した。

シンポジウムでは、「スポーツとイノベーション～ラグビー日本代表にわれわれは何を学ぶのか?～」と題し、神戸製鋼コベルコスティーラーズ総監督兼GMであり、元男子ラグビー日本代表監督、関西大学人間健康学部客員教授の平尾誠二氏や、男子ラグビー日本代表メンタルコーチであり、兵庫県立大学准教授の荒木

香織氏がパネリストとして講演。ラグビーワールドカップ日本代表を世界で戦える魅力的なチームにするために行った30年にわたる取り組みを紹介。日本代表チームを支えた立場から、スポーツを支える人々に役立つヒントを伝授した。

会場では定員570席がほぼ満席となる来場者があり、日本のスポーツ指導にイノベーションを起こすきっかけとなる貴重な内容に、熱心に耳を傾けていた。

「第1回学生住宅デザインコンテスト」「第1回学生デザインコンペ」

江種航さん、大田美奈子さん、阪口友晃さんが最優秀賞を受賞



「第1回学生住宅デザインコンテスト」最優秀賞受賞の江種航さん(写真提供:毎日新聞社)

毎日新聞社主催の第1回学生住宅デザインコンテストで、江種航さん(環都4)が最優秀賞を受賞した。建築界の未来を担う人材の育成・支援を目的とするこのコンテストは、今回が第1回。「家をとことん楽しむ」をテーマに、江種さんは「大きなテーブルと軒下の家」を考案。生活に地域が入り込んでくる街のリビングのような家をコンセプトに定め、約200作品の中から選出された。受賞にあたり、江種さんは「家は周辺の環境の中に建てられるものなので、家の中だけが楽しいのではなく、地域のリビングになるように設計した。今後も社会に対して自分が良いと思えるものを提案していきたい」と喜びのコメントを寄せた。

また、三協アルミ主催の「未来のとびらコンテスト(大学生版)」第1回学生デザインコンペでは、大田美奈子さん(理工学研究科M1)、阪口友晃さん(環都3)が東京理科大学大学院の中塚大貴さんとの合作で、最優秀賞を受賞した。個人住宅部門のテーマは「ずっといたくなる家」。3人は集合住宅における建物構成と室単位の設えをコンセプトに「外気を設える家」を考案し、152作品の中から選出された。外気が在る事、風が吹き、日に照らされ、季節や天候で湿度が変わる。そんな些細な事柄を迎えるだけで生活は豊かになる、という考えから生まれた作品だ。



▲未来のとびらコンテスト「第1回学生デザインコンペ」個人住宅部門最優秀賞を受賞した阪口友晃さん(左)と大田美奈子さん(右) 最優秀賞受賞作品「外気を設える家」 (写真提供:三協立山株式会社三協アルミ社)

